

かわら版 市民 プレス

SHIMIN PRESS

「市民フォーラム」
原 昭二
デジタル工房
hara@camelianet.com
090 (3048) 5502
〒353-0004 埼玉県志木市本町 2-4-43

市民の目線で市民が発信する地域情報紙
WEB SHIMIN
<http://shimin.camelianet.com>

「市民プレス」電子版(無料)を公開しました
<http://pr-shimin.camelianet.com>
電子書籍専用のアプリケーション等でお読み下さい。

ヤコブ・ルートヴィヒ・フェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ(Jakob Ludwig Felix Mendelssohn Bartholdy)(1809年2月3日~1847年11月4日)は、ドイツロマン派の作曲家、指揮者。オラトリオ「聖パウロ」は、彼の天才的才能と類い稀なる情熱によって誕生した名曲である。

戯曲を題材とした『夏の夜の夢』序曲を作曲、1829年、20才、作曲家バッハの死後初めて、自ら監督して、「マタイ受難曲」の公演演奏を行なう。会場はベルリン・ジングアカデミーのホール。ピアノで通奏低音を担当しながら指揮して聴衆を魅了した。

メンデルスゾーンは、バッハ音楽の復興、ライブツイヒ音楽院の設立など、19世紀の音楽界に極めて大きな影響を与えた。

メンデルスゾーンは、その後何度かゲーテに招かれて会っており、ゲーテの詩の多くに曲をつけている。ゲーテに靈感を受けて作曲された作品には、他に序曲「静かな海と楽しい航海 Op.27」とカンタータ「最初のワルプルギスの夜 Op.60」がある。

メンデルスゾーンの家は、1837年3月、フランスのプロテスタントで聖職者の娘、セシル・シャルロット・ゾフィー・ジャンルノー Cécile Charlotte Sophie Jeanrenaud(1817年10月~1853年3月)と結婚し、5人の子に恵まれた。

しかし天才は早世した... 1835年、彼は26才でライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の指揮者となり、1841年、32才でベルリンの宮廷礼拝堂楽長に就任した。1843年、自ら奔走して設立資金を集め、ライプツィヒ音楽院を開校、院長となる。しかし、1847年、5月、訪英の途上で姉フアニーの死の報に接し、悲嘆の余り神経障害を起こす。一時回復したが、11月3日に没した(38才)。彼は生前は特に病弱でも無く、登山等もしていたこと、フェリックスの父アブラハムも姉フアニーも似たように若くして突然逝去している事等か

メンデルスゾーン オラトリオ『聖パウロ』作品・36

この少年の才... 1837年3月、フランスの...

メンデルスゾーンの家は... 1837年3月、フランスの...

ウロは突如「天からの光」に照らされ、目が見えなくなってしまう。その時、復活したイエスの声を聴く。

パウロは3日たっても回復しなかつたが、心の優しいキリストはローマにとつて脅威となり、危険人物と見られたパウロは、ローマ皇帝によって逮捕され、ついに殉教を遂げる。

『新約聖書』は、紀元1世紀から2世紀にかけてキリスト教徒たちによって書かれた文書で、『旧約聖書』とならぶキリスト教の正典である。27の書が含まれ、イエスの生涯を記述した四つの福音書、初代教会の歴史使徒行伝(使徒言行録)、初代教会の指導者たちによって書かれた書簡からなっているが、パウロがローマの信徒などに宛てた手紙はその大半を占め、『ヨハネの黙示録』が最後に

メンデルスゾーンの生い立ち
フェリックス・メンデルスゾーンは、ドイツ北西部の工業都市・ハンブルクで、富裕な銀行家の息子として生まれた。「メンデルスゾーン」とはメンデル家の息子という意味で、祖父は、カントにも影響を残した有名なユダヤ人哲学者であった。フェリックスは4人兄弟の2番目で、姉のフアニー(結婚後、フアニー・ヘンゼル)も有名なピアニストであり、また女性作曲家の先駆者でもあった。

天才だったメンデルスゾーン
幼少期から優れた音楽の才能に恵まれ、神童として知られた。6歳の時に母からピアノの手ほどきを受け、8歳になると、父親がパリに赴任した際に同行して、マリー・ビゴのレッスンを受ける。この年からベルリンでカール・フリードリヒ・ツェルターに作曲を学ぶ。17才で、シェイクスピアの

重奏曲、弦楽四重奏・五重奏曲、声楽曲・宗教音楽としてオラトリオ、カンオン、独唱曲、オペラなど、その数は九百余りにもなる。

ユダヤ人の家系であったメンデルスゾーン家は言われなき迫害を受けることが多かった。彼がキリスト教に改宗後も変わらなかつた。しかしそのような状況に挫けることなく、終生ドイツ音楽界の重鎮として君臨し続けた。

しかも音楽だけでなく、メンデルスゾーンは美術、文学、語学、哲学も学んでいた。特に西洋古典学に興味を示した。

ゲーテとの出会い
フェリックスと姉のフアニーがベルリンで対位法を学んだ師匠のカル・フリードリヒ・ツェルターは、1821年に、書簡をやり取りする間柄だった文豪ゲーテにメンデルスゾーンを紹介した。

この少年の才... 1837年3月、フランスのプロテスタントで聖職者の娘、セシル・シャルロット・ゾフィー・ジャンルノー Cécile Charlotte Sophie Jeanrenaud(1817年10月~1853年3月)と結婚し、5人の子に恵まれた。

しかし天才は早世した... 1835年、彼は26才でライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の指揮者となり、1841年、32才でベルリンの宮廷礼拝堂楽長に就任した。1843年、自ら奔走して設立資金を集め、ライプツィヒ音楽院を開校、院長となる。しかし、1847年、5月、訪英の途上で姉フアニーの死の報に接し、悲嘆の余り神経障害を起こす。一時回復したが、11月3日に没した(38才)。彼は生前は特に病弱でも無く、登山等もしていたこと、フェリックスの父アブラハムも姉フアニーも似たように若くして突然逝去している事等か

若くして突然逝去している事等か



フェリックス・メンデルスゾーン

Felix Mendelssohn

「あなたは何歳ですか?」とツェルターが問う。ゲーテは「そうだ」と答えて続けた。「しかし君の生徒が既にやっているこ

ら、何か伝統的な要因があったのではないかとする説もある。

オラトリオ『聖パウロ』の主なキリスト教発展の基礎をつくつた人、新約聖書の著者の一人として知られる聖パウロである。

この体験によってパウロは回心して洗礼を受け、180度転換してキリスト教の宣教師となつたのである。その後パウロは3度にわたつて伝道旅行を重ね、ユダヤ人以外にもキリスト教を

広めるために心血を注いだ。パウロの伝道に

爆発的に拡がり、異教徒を改宗してゆく。

**志本第九の会
第十六回 定期演奏会**
2014年7月20日(日) 開演・2時
志木市民会館 パルシテイホール
音楽監督・三澤洋史さんの
演奏曲目に寄せるお話... 1時30分より

**メンデルスゾーン
オラトリオ『聖パウロ』作品・36**
管弦楽・東京ニューシティ管弦楽団
合唱・志本第九の会合唱団

音楽監督・指揮・三澤洋史
ソプラノ・國光ともこ アルト・高橋ちはる
テノール・畑儀文 バス・大森いちえい
オルガン・矢内直子



創立20周年記念、平成24年(2012)6月3日(日)、和光市民文化センター『サンアゼリア』大ホールで
大曲 ヴェルディの「レクイエム」の演奏に挑む
音楽監督・指揮：三澤 洋史 管弦楽：東京ニューシティ管弦楽団 合唱：志本第九の会 坂戸第九を歌う会(賛助出演)

オラトリオ「聖パウロ」は生まれた

作曲の動機は・・・

1829年、メンデルスゾーンは、死後、長く忘れられていたヨハン・ゼバスティアン・バッハの「マタイ受難曲」を、ベルリンで復活上演して成功を納め、キリスト教徒の最も偉大な音楽を世界に蘇らせたと言われた。自らも音楽家として名声を得て、宗教音楽を作曲する道が開かれた。

1835年、メンデルスゾーンは、バッハが活躍したライプツィヒのゲヴァントハウスオーケストラの指揮者に就任し、バッハがカンタータ、受難曲などの教会音楽を作曲した地に在って、彼の音楽を深く研究する機会に恵まれた。

オラトリオ《聖パウロ》はメンデルスゾーンの類稀なる能力に加えて、彼の宗教的な激しい情念が湧き出して創造され、1836年5月、デュッセルドルフのニードラーライン音楽祭で初演された。バッハのマタイ受難曲の冒頭の暗い旋律とは異なり、メン

パウロの歩いた伝道の道程



デルスゾーンのオラトリオ「聖パウロ」の序曲は、明るく、またまばゆい輝きをもって始まる。

好評だった初演の後、上演は瞬く間に世界に広がっていった。その年の10月には英訳テキストによってリパブルで、明けて1837年5月には海を越えてボストンで、夏にはロンドン、初秋にはバーミンガムで。ほかにもデンマーク、オランダ、ポーランド、ロシア、スウェーデン、スイスなどの各国で演奏された。

19世紀、オラトリオというジャンルは衰退にあつたが、《聖パウロ》と、続いてメンデルスゾーンが作曲したオラトリオ《エリヤ》によって見事に息を吹き返した。

メンデルスゾーンの二つのオラトリオは、豊かな、そして美しく鳴り響く名曲なのである。



ピエトロ・ダ・コルトーナ(パロック時代盛期のイタリアの画家、建築家)が1631年に描いたパウロの回心

オラトリオとは・・・

「オラトリオ」の語源は、教会や修道院に設けられた「祈祷用の部屋」で、聖職者と信徒が祈祷室に

集まって、祈祷、説教、聖書の朗読、イタリア語の recitativo は、叙唱、

宗教曲の歌唱などの習慣がつく朗唱と訳され、オペラ、オラトリオ、

自由な形式が許され、世俗カンタータなどの大規模な組曲形式の形式も採り入れられて、音楽

式の作品の中に組み込まれる。アリアなどの旋律的な曲の間や

一つの形式として、オラトリオ前に置かれ、個人的な感情の独白、

状況説明、ストーリーの紹介など

形式が生まれたといわれている。典型的なオラトリオは、宗教的

(キリスト教的)なテーマで作曲され、聖書などから取った台詞が使

われた。さらに、様々な曲を合わせた豊かな描出力をもつようにな

る。歌詞には叙事的なストーリーが含まれ、声楽(独唱・合唱)は、オー

ケストラとともに演奏され、規模

の大きなジャンルとなった。

形式や、類似した性格をもつ作品をも含めて呼ぶことが多い。

コラールは・・・

独逸語で Choral は、ルター派

教会で歌われる賛美歌だが、現代な役割を果たした。彼はまた自ら

ユダヤ人だったパウロが改心した経験は、「パ

ウロの回心」といわれ、紀元34年頃のことされる。

台本製作は後に「エリヤ」の台本にも関わったデッサウの牧師ユリウス・シュープリンクの

アドバイスを得ながらメンデルスゾーン自身が

行った。聖書に忠実な語句こそ最良の言葉と考

えて、歌詞のテキストはほとんど「使徒言行録」から取られている。ただし、第20曲のみ聖書の

語句ではなくメンデルスゾーン自身の作詞では

ないかと考えられている。

サウロから改名したパウロがバルナバと共に、

東地中海沿岸各地でさまざまな奇跡を起こしな

がらキリストの教えを伝え歩く。さらに、周囲

の反対を押し切つて、予期される投獄や死をも

恐れず、イエエルサレムに戻つてキリストの福音

を伝える決意をするところまでを描いている。

イエルサレムでイエスの教えを伝道していた

ステファノが、民衆に石で打たれて最初の殉教

者となることから始まる。民衆と共に居たサ

ウロ(後のパウロ)は、そのころは未だ熱心な

ユダヤ教徒だったので、祭司長たちの命で、イ

エスの信奉者たちを捕える役目をもつていた。

ところが捕えたキリストの信者をイエルサレ

ムに連行するため、ダマスコへ向かう途中でイ

エスの声を聞く。やがてイエスこそ救世主(キ

リスト)であるとの思いを強くするようになり、

イエスの教えの伝道者となることを決意するま

での劇的なシーンを描いている。

(曲)と(場面)

- 1 曲 3 曲 呼びかけと詠唱
- 4 曲 11 曲 ステファノの殉教
- 12 曲 22 曲 サウロの回心と洗礼

第一部

- 23 曲 27 曲 伝道 1
- パウロとバルナバの派遣
- 28 曲 31 曲 伝道 2
- パウロへの迫害
- 32 曲 36 曲 伝道 3
- リュストラにおける足なえの治療
- 37 曲 40 曲 伝道 4
- ユダヤ教徒と異教徒によるパウロの迫害
- 41 曲 43 曲
- パウロのエフェソの教会との別れ
- 44 曲 45 曲
- パウロの殉教の死と信仰の証

1. [Chor] ERSTER TEIL
Herr! Der du bist der Gott,
der Himmel und Erde und das Meer gemacht hat.
Die Heiden lehnen sich auf, Herr,
wider dich und deinen Christ,
Und nun, Herr, siehe an ihr Drohn
und gib deinen Knechten, mit aller Freudigkeit
zu reden dein Wort.

42. [Chor] ZWEITER TEIL
Sehet, welche Liebe hat uns der Vater erzeiget,
daß wir sollen Gottes Kinder heißen.
44. [Schluschor]
Nicht aber ihm allein, sondern allen,
die seine Erscheinung lieben.
Der Herr denket an uns und segnet uns.
Lobe den Herrn!
Lobe den Herrn, meine Seele,
und was in mir ist, seinen heiligen Namen.
obet den Herrn, Ihr seine Engel, lobet den Herrn!

第一部
序曲につづく合唱
主よ！ 貴方は神・・・
天と地と、そして海をも創られ
た方、それなのに、異邦人たちは、
貴方に背いて刃向かつてきます。
主よ！ 彼らの脅しに眼を向
け、貴方の僕となった人々が安心
して、そして喜びをもって、貴方
の教えを語れるようになさつて下
さい。

第一部の終曲
42. [合唱]
見つめよう、どれ程までの愛かを
父がわたくし達に示してくれたのかを・・・
わたくし達は神の子とさえ呼ばれるのです。
44. [最終合唱]
しかし彼だけでなく、
誰にも授けてくれるのです、
主が来られることをひたすら待ち望む人には、
主はわたし達を想い、祝福されるのです。
主を賛美しよう！
主を賛美しよう、わたくしの魂よ、
わたしの内にあるもの、その聖なる御名を。
主を賛美しよう、主の御使い達よ、
主を賛美しよう！

1936年に撤去された・・・ゲヴァントハウス(ライプツィヒ)の前に在ったメンデルスゾーン像



ライプツィヒのメンデルスゾーンの書斎